

2012年 2 月 作成（第1版）

貯 法：(1)吸湿注意  
(2)30℃以下で保存する。  
使用期限：3年（表示の使用期限を参照すること。）  
注 意：取扱い上の注意参照

日本標準商品分類番号
872331

承認番号	16000AMZ01818
薬価収載	1985年7月
販売開始	1985年7月
再評価結果	1983年4月

消化酵素剤

# パンクレアチン「エビス」

PANCREATIN

日本薬局方 パンクレアチン

## 【禁忌】（次の患者には投与しないこと）

1. 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者
2. ウシ又はブタたん白質に対し過敏症の既往歴のある患者  
〔ウシ又はブタの臓臓由来の消化酵素であるため。〕

## 【組成・性状】

1. 組 成  
本品 1g 中 日局パンクレアチン 1g 含有。
2. 性 状  
本品は白色～淡黄色の粉末で、特異なおいがある。

## 【効能・効果】

消化異常症状の改善

## 【用法・用量】

通常、成人 1 回 1g を 1 日 3 回食後に経口投与する。  
なお、年齢、症状により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

1. 副作用  
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症 <sup>注)</sup>	くしゃみ、流涙、皮膚発赤等

注) このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

2. 適用上の注意

服用時

- (1) 投与に際しては、直ちに飲み下すように注意すること。（小児が誤って本剤を大量に停滞させたため、口内炎及び口腔内潰瘍を起こしたとの報告がある。）
- (2) 投与に際しては、粉末を吸入しないように注意すること。（本剤の吸入により気管支痙れん、鼻炎を起こしたとの報告がある。）

## 【薬効薬理】

本品はプロテアーゼ、アミラーゼ、リパーゼ、トリプシン、キモトリプシン、カルボキシペプチターゼ、リボヌクレアーゼなど多くの酵素を含有し、たん白質、炭水化物及び脂肪の消化を行う。

## 【取扱い上の注意】

配合変化  
酸性又は強アルカリ性により失活する。

製造販売元  
日興製薬株式会社  
岐阜県羽島市江吉良町 1593